

事例紹介

滋賀県医療情報連携ネットワーク

びわ湖あさがおネット

 <http://www.biwako-medical.net/>

システムの概要

システムの実施目的・地域など

参加団体数と参加患者数

参加の同意方法について

患者さんの同意取得の詳細

サービスについて

共有できる情報項目

共有情報の取得元

システムについて

通信ネットワーク

ログインセキュリティ

主なIT企業

サービス利用・参加料金

蓄積された個人情報の利用

予算について

費用の負担について

システムの概要

システム名	滋賀県医療情報連携ネットワーク
代表団体	特定非営利活動法人滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会
運用開始状況	導入済み：2014年
稼働状況	サービス運用中
運用終了年	
提供地域	滋賀
自治体の参加状況	運営主体として参画中
事務局運営人数	専任3人、兼任1人

システムの実施目的・地域など

システムの導入目的	救急医療対策、医療連携、在宅医療対策、がん対策、脳卒中対策、疾病予防対策
地域の課題	
システム導入効果 凡例：(○) 効果あり、	(○) 患者サービスが向上した (△) 患者の負担が軽減した

(△) どちらとも言えない、(×) 効果なし	<ul style="list-style-type: none"> (○) 医療機関間で機能分化が進んだ (△) 医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ (○) 医療機関間の人的ネットワークが進んだ (△) 医師の偏在を補う効果があった (○) 患者紹介の円滑化が進んだ (○) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった (△) 診療所の支援が受けられるようになった (○) 業務全体の負担軽減 (△) 医師の負担軽減 (△) 看護師の負担軽減 (△) 事務職員の負担軽減 (△) 技術職員の負担軽減 (○) 従事者間の情報共有が向上した (○) 従事者間の連携が向上した
システムの課題	情報閲覧施設や利用登録者の拡大。ネットワークシステムの一元化。
工夫した点	地域連携システム（ID-LINK、HumanBridge）、在宅療養支援システム、遠隔病理システムなどの複数システムの接合。
対象地域	全県域での連携

参加団体数と参加患者数

参加団体と参加患者数	<ul style="list-style-type: none"> 【病院】 実施中：36施設 【医科診療所】 実施中：208施設 【歯科診療所】 実施中：1施設 【薬局】 実施中：42施設 【介護施設】 【その他】 実施中：8施設
利用施設数の割合	
登録患者数状況	実績数
登録患者数	29500
情報共有している患者状況	実績数
共有患者数	14960

参加の同意方法について

医療機関等	医療機関施設毎の参加判断 医療機関その他の方式
介護施設・その他	介護施設施設毎の参加判断
患者さん	患者一括同意

患者さんの同意取得の詳細

新規の患者さん	同意書による取得
撤回する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
連携先の増加	その他 システムによる連携先の公開

サービスについて

疾病	
サービス	電子おくすり手帳、退院時サマリ、画像情報の共有、画像診断サービス、医療従事者用モバイル対応、在宅医療連携、介護連携、その他のサービス診療・検査予約
補足・備考	

共有できる情報項目

基本情報	患者基本情報、病名情報
文書	診療情報提供書、医師記録、サマリ、手術記録、看護記録等、文章その他 情報提供病院によって開示情報項目に差異がある。
オーダ情報	処方オーダ、注射オーダ、検体検査オーダ、放射線検査オーダ、内視鏡検査オーダ、生理検査オーダ、食事オーダ
検査結果	検体検査結果、生理検査結果、画像
調剤結果	調剤結果
その他	その他 情報提供病院によって開示情報項目に差異がある。

共有情報の取得元

共有情報の取得元	病院電子カルテより
----------	-----------

システムについて

連携方式	分散型
情報共有の形態	双方向での共有、参照のみ 双方向での共有は、情報提供病院間でのみ実施。
患者IDシステム	HumanBridgeシステムを利用、ID-Linkシステムを利用、独自開発のシステムを利用、その他の共通IDシステムを利用、在宅療養支援情報システム（淡海あさがおネット）
標準化ストレージ	SS-MIX 2
情報の保存場所	各医療機関の院内
障害対策	提供ベンダーのサービスを利用
厚労省標準規格の採用	ICD 10対応標準病名マスター、診療情報提供書 2、IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用指針、保健医療情報-医療波形フォーマット-第92001部：符号化規則、医療におけるデジタル画像と通信、JAHIS臨床検査データ交換規約、標準歯科病名マスター、臨床検査マスター、JAHIS放射線データ交換規約、JJ1017指針

通信ネットワーク

医療機関等との通信	医療機関との通信IP-VPN、医療機関との通信インターネットVPN
介護施設・その他施設との通信	介護施設の通信インターネットVPN
患者さんとの通信	

ログインセキュリティ

医療機関・薬局用	IDとパスワード
介護施設・その他施設用	IDとパスワード
患者さん用	

主なIT企業

企業名（1）	日本電気（株）
--------	---------

企業名（2）	ケイオプティコム
企業名（3）	富士通（株）

サービス利用・参加料金

病院（開示施設）	実施中：有料 月額：50000円 補足：病床数に応じて、4.5～5.5万円で設定
病院（閲覧施設）	実施中：有料 月額：5000円 補足：10IDにつき5000円
診療所	実施中：有料 月額：2000円 補足：医科診療所の開示なし
薬局	実施中：有料 月額：2000円 補足：薬局の開示なし
介護施設	実施中：有料 月額：2000円 補足：開示なし
患者さん	

蓄積された個人情報の利用

地域の医療費適正化の目的で利用	実施なし/予定なし
学術研究等の公益目的で利用	実施なし/予定なし
公益目的以外で利用	実施なし/予定なし

予算について

構築費用概算	160000（千円）
年間運用費用概算	29000（千円）
保守費概算	15000（千円）

費用の負担について

実施中システム構築費の負担	自治体の負担
実施中システム運用費の負担	参加施設の負担
実施予定システム構築費の負担	国の負担（厚労省）
実施予定システム運用費の負担	

[← 事例一覧へ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

▶ 医療情報連携ネットワークはなぜ必要？

- ▶ 出発点は地域医療を良くしたいという思い
- ▶ 医療情報連携ネットワークの導入効果
- ▶ 利用者の声（導入効果）

▶ 医療情報連携ネットワークをどう作る？

- ▶ 医療情報連携ネットワークの構築手順
- ▶ 実施のポイント
- ▶ 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- ▶ ガイドライン、書式例など

▶ 医療情報連携ネットワークの具体例を見る

▶ 医療情報連携ネットワークとは

- ▶ データで見る
- ▶ ピックアップ事例
- ▶ 事例を探す

▶ 構築手順

- ▶ 構築手順について
- ▶ Step1：計画
- ▶ Step2：構築
- ▶ Step3：運用
- ▶ Step4：更改

▶ FAQ

- ▶ 用語集
- ▶ お役立ち情報
- ▶ リンク集
- ▶ 資料ダウンロード